

注) この RCT は日本東洋医学会 EBM 委員会がその質を保証したものではありません

21. その他

文献

今里真, 甲斐俊吉, 小泉浩一, ほか. 注腸前処置における芍薬甘草湯の使用効果. *Therapeutic Research* 1997; 18: S505-10. [MOL](#), [MOL-Lib](#)

今里真, 甲斐俊吉, 小泉浩一, ほか. 注腸前処置における芍薬甘草湯の使用効果. *漢方医学* 1998; 22: 87-92.

1. 目的

芍薬甘草湯の注腸前処置の苦痛・愁訴に対する有効性の評価

2. 研究デザイン

ランダム化比較試験 (RCT)

3. セッティング

1 総合病院

4. 参加者

注腸 X 線検査を希望して来院した患者 60 名

5. 介入

Arm 1: SK 群: Brown 変法+検査前日夕食前、眠前、当日朝にツムラ芍薬甘草湯エキス顆粒 2.5g を服用、30 名

Arm 2: Control 群: Brown 変法、30 名

6. 主なアウトカム評価項目

自覚症状 (アンケート方式)

7. 主な結果

SK 群と Control 群で、自覚症状はそれぞれ、前夜からの腹痛: さほどでもない 96.7%、46.7%、前夜からの睡眠: 普段どおり 86.7%、6.7%、来院の際のつらさ: 問題なかった 90%、66.7%、前回との比較: 前回より楽 66.7%、0%であった。排便回数は SK 群では当日 0-6 時の回数が抑制された。

8. 結論

芍薬甘草湯は注腸検査の前処置に伴う苦痛を軽減させる。

9. 漢方的考察

なし

10. 論文中の安全性評価

記載なし。ただ、SK 群は検査自体にも悪影響はみられず、バリウム付着はむしろ良好と報告されている。

11. Abstractor のコメント

多数例で RCT を施行し芍薬甘草湯の注腸検査の前処置に伴う苦痛に対する効果を評価しえたことは賞賛に価する。自覚症状を数値化し 2 群間比較を詳細にするとさらにエビデンスを理解しやすくなると考えられる。

12. Abstractor and date

小暮敏明 2008.8.8, 2010.6.1, 2012.12.31